



スーパーマーケットの見学について

9月9日(火)に3年生が、社会科の学習として学校の近くのセブンスターというスーパーマーケットを見学しました。毎年、ご協力いただきありがとうございます。

今回の見学では、販売の仕事に関して、消費者の願いや販売の工夫、他地域、外国とのつながりに着目しながら調べることが、大きな目的になります。

買い物でスーパーマーケットを使うときには、商品を選択したり値段を考えたりすることが中心ですが、今回の見学では、子どもたちが社会の仕組みを学ぶよい機会となります。商品がどのくらいそろえられているのか、商品がどこから来て、どのように並べられ、売られているか、ということを知ると、働く人の工夫や努力に気付くことができます。また、買い物の流れやお金の使い方を振り返る機会にもなり、生活に密着した知識が身に付きます。さらに、見学を通して商品レイアウトや表示の工夫に気付いたり、地元の野菜や季節の食材などにも目を向けたりすることも期待できます。

接客という点での人との関わり、食の安全性という視点も大事です。スーパーマーケットの見学という身近な場所を学びの場にする事で、子どもたちの社会への理解が深まると考えています。

今後も、3年生に限らず、体験をしたり見学をしたりする活動を学習の中に取り入れていきたいと思えます。教室の中だけでは得ることができないことを、子どもたちにはぜひ感じてほしいものです。

【スーパーマーケットの見学に対する感想など】

📧 セブンスターの見学ありがとうございました。バックヤードの中では、-20度の部屋や肉や魚を切る部屋があることを初めて知りました。肉は、使い方が違っていたら、切り方が違うことを初めて知りました。魚は、さばける人が少ないのでなるべくセブンスターでさばいています。そうするといろいろな人が使いやすくなるので、みんなの笑顔が見られます。なので、セブンスターのみなさんは、笑顔を見るのが好きなのかなと思いました。今回の学習で、バックヤードの中を知ることができたのでよかったです。また見学に行きたいです。

📧 今日は、セブンスターに来させてくれてありがとうございます。普通の日には見られないところを見せてくれて、とてもうれしかったです。私が一番すごいなと思ったのは、レジにいた人の数です。そのなに人気だったから、やっぱりすごいなと思いました。今日からはときどきセブンスターに行ってみます。あと、セブンスターのものの並べ方が大変きれいだなと思いました。お仕事が大変な人や料理が遅くなっている人のためにお惣菜が入口近くにある工夫を見て、ちゃんと人のことを考えているのがすごいなと思いました。

